

【スマイルビーチプロジェクト～海と日本2020～実施報告書】

日本財団 海と日本プロジェクト助成事業

実施：たはらサンドアート実行委員会

―― イベント概要 ――

- ・名称 障がい児サーフィン体験教室～海と日本プロジェクト2020～
- ・日時 2020年11月1日 12時45分～14時30分
- ・会場 田原市若見町海岸（新日本ポイント）
- ・概要 知的発達障がい児とボランティアによるサーフィン体験教室
- ・目的 サーフィン体験教室【海を体験しよう！】
- ・対象 知的発達障がい児
- ・主催 たはらサンドアート実行委員会
- ・協力 おいでんガールズカップ実行委員会、豊橋ケーブルネットワーク株式会社

―― イベント結果 ――

参加者数：知的発達障がい児とその家族10名4家族、プロサーファー6名、ボランティア12名

メディア露出：中京テレビ、ケーブルテレビ（ティーズ）、中日新聞、東愛知新聞

―― イベントの様子 ――



【サーフィン体験時の様子】



【実施後集合写真の様子】



【陸や海でサーフィンを楽しむ様子、新聞社やテレビ等の取材を受けました】

【スマイルビーチプロジェクト～海と日本2020～実施報告書】

日本財団 海と日本プロジェクト助成事業

実施：たはらサンドアート実行委員会

―― イベント概要 ――

- ・名称 ビーチクリーン大作戦～海と日本プロジェクト2020～
- ・日時 2020年11月1日 8時30分～10時00分
- ・会場 赤羽根町大石海岸（太平洋ロングビーチ）
- ・概要 たはらサンドアート実行委員会と関係者、サーファー等による清掃活動
- ・目的 海岸美化と啓発活動【海をキレイにしよう！】
- ・対象 知的発達障がい児、一般サーファー、地域住民等
- ・主催 たはらサンドアート実行委員会
- ・協力 田原市サーフィン協会

―― イベント結果 ――

参加者数：約50名

海岸中央ポイントと西側ポイントの2カ所で実施

―― イベントの様子 ――



【中央ポイント清掃完了時の様子】



【西側ポイントのごみ回収時の様子】



【各ポイントでそれぞれ砂浜のごみを回収、分別しました】

【スマイルビーチプロジェクト～海と日本2020～実施報告書】

日本財団 海と日本プロジェクト助成事業

実施：たはらサンドアート実行委員会

―― 概要 ――

- ・名称 情報発信～海と日本プロジェクト2020～
- ・日時 2020年12月20日～
- ・概要 オフィシャルサポーターによる発信とサーフィン体験教室の様子
- ・目的 情報発信・啓発活動【海を体験しよう！】
- ・対象 視聴者
- ・URL https://www.youtube.com/channel/UCG9z-_NYHS2Lz7Dx974rk4A
- ・主催 たはらサンドアート実行委員会
- ・協力 お笑い芸人はんにゃ 金田哲（オフィシャルサポーター）

―― 動画抜粋 ――



【タイトル画面】



【活動紹介をするオフィシャルサポーター金田哲】



【陸から海から空からサーフィンを楽しむ様子を撮影】



【プロサーファーに教えてもらい、海での思い出が増えた参加者の様子】



サーフボードの上でバランスを取る子どもたち(上)、波乗りを楽しむ男の子(提供)



田原で障害児がサーフィン挑戦

地元出身の杉原プロが指導

海と日本プロジェクト

田原市の若見海岸で障害児サーフィン体験教室が開かれ、知的障害や発達障害のある子どもたちが波乗り挑戦した。

参加児童は小6が2人、小5が1人、小1が1人。田原市出身のプロサーファー杉原康幸さんやボランティアスタッフ

が指導した。子どもたちは砂浜に置いたサーフボードの上に立ってバランスを取る練習をし、スタッフの力を借りて実際に波乗りも体験。タイミングを合わせてボードの上に立った。怖がらず、水中に落ちても笑顔を浮かべるなど、貴重な時間を楽しんだ。

障害児に差別や偏見のない安心できる居場所を

提供しようと活動するサードアートフェスティバル実行委員会(林智也代表)の主催で、日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で開催。当初は浜辺でサンドアートを予定していたが、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小した。

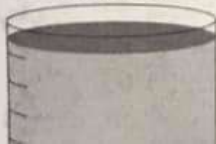
【由本裕貴】

東三河水がめ情報

5日午前0時現在

豊川用水

合計貯水量
(調整池含む)



宇連ダム



大島ダム



障害のある子ら サーフィン満喫



サーフィンを体験する子どもとボランティアら＝田原市の太平洋ロングビーチで

太平洋ロングビーチで教室

発達障害のある子どもたちを対象にしたサーフィン教室が一日、田原市の太平洋ロングビーチで開かれ、子どもたちはプロサーファーと一緒に波乗りを楽しんだ。

サーフィンを通して自然と触れ合ってもらおうと、砂遊びで障害のある子どもたちと交流するイベントを毎年開催している「たはらサンドアート実行委員会」が主催。市在住の五十二

歳の四人が参加し、田原市の杉原康幸さんから六人のプロサーファーと十一人のボランティアがサーフィンを教えた。

子どもたちはプロらに支えてもらい、サーフボードの上に立って波に乗った。参加した朽名悠透君(九)は「ちょっと難しかったけれど楽しかった。来年もまたやりたい」と話していた。

(鈴木弘人)

【中日新聞にて掲載】

【ティーズ】HOTステーション LineUP

TODAY'S TOPICS

普門寺 国重要文化財特別ご開帳・プライベートツアー

サーフィン体験教室～海と日本プロジェクト2020～

お知らせ

介護保険事業計画(案)の意見募集

【ケーブルテレビにて放送】

障害のある子どもたちがサーフィンに挑戦 愛知・田原市

報道局・豊橋支局

愛知

2020/11/02 6:30



愛知県田原市の若見海岸で1日、障害がある子どもたちがサーフィンに挑戦し、海との触れ合いを楽しみました。

この取り組みは、障害がある子どもたちにサーフィンを通して海などの自然に親しんでもらおうと、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として行われました。

イベントには、発達障害がある地元の子どもたち4人が参加し、田原市出身のプロサーファー・杉原康幸さんらの指導のもと、サーフィンにチャレンジしました。

【中京テレビにて放送】